

# 片瀬だより

令和7年6月25日 発行  
編集・発行  
片瀬だより編集委員会  
藤沢市片瀬3丁目9番6号  
電話 29-7171  
FAX 25-8907

◎申込みは、片瀬市民センター地域づくり担当(平日のみ午前8時30分～午後5時まで)または電子申請で

生涯学習事業のお知らせ

申込み、詳細は広報・地域回覧・ホームページ等をご確認ください。

## 片瀬市民センター(本館)

### 映画上映会 「怪盗グルーのミニオン超変身」

日時：7月26日(土) 午後5時30分～

### おひざの上のおはなし会とわらべうた

日時：7月11日(金)・9月12日(金)  
10月10日(金) 午前11時～正午

### 夏休み子ども事業《要申込》

『楽しく作ろう!不思議な空想植物』

日時：7月25日(金)  
午前10時～正午

### 夏休み子ども事業《要申込》 『体も頭も使ってボルダリングを楽しもう』

日時：8月8日(金) 午前の部 午前10時～正午 午後の部 午後1時30分～3時15分  
場所：神奈川県立スポーツセンター

### Let's Try Katase kids「清水谷戸を探検しよう!」《要申込》

日にち：9月21日(日) 場所：川名清水谷戸



## 片瀬しおさいセンター

### 夏休み子ども事業《要申込》

『天体望遠鏡で夏の星空を見よう!』  
日時：7月31日(木) 予備日8月1日(金)  
午後7時～8時30分

### 楽しく子育て《要申込》

日時：7月16日(水)「仲良く親子ストレッチ」  
9月17日(水)「保育士さんと遊ぼう」  
午前10時～11時30分

### 赤ちゃん和妈妈のふれ愛タイム《要申込》『バランスボール』

日時：9月4日(木) 午前10時～11時30分

### 昼のエクササイズ

日時：7月11日(金)・8月8日(金) 午前10時～11時15分  
9月3日(水)・10月1日(水) 午前10時～11時

### おもちゃの病院

日時：7月19日(土)・8月16日(土)・9月20日(土)  
午後1時30分～3時30分

### 夜のエクササイズ『脂肪燃焼!ボクシングエクササイズ』

日時：6月25日(水)・7月23日(水)・8月20日(水)  
9月24日(水) 午後7時～8時

### ようこそ小さな空間 アンソレイユ

日時：7月7日(月)  
8月4日(月)  
9月1日(月)  
午前10時～正午

### スマホお助け隊《要申込》

日時：7月17日(木)  
8月21日(木)  
9月18日(木)  
午前9時～正午



## はじめまして

新たに着任された、片瀬中学校の小林教頭先生と、高橋教頭先生をご紹介します。

### 片瀬中学校 小林 隆 教頭



四月より、片瀬中学校の教頭として着任しました。地域の豊かな自然と文化に恵まれた学校で、子どもたちの成長を支えられることを大変光栄に思います。

片瀬中学校が位置する江の島周辺は、美しい景観と歴史を持つ魅力的な地域です。こうした素晴らしい環境の中で、子どもたちが学びと経験を深められる機会を増やしたいと考えております。地域の方々との協力を大切にしながら、より良い学校づくりに努めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

### 片瀬小学校 高橋 道陽 教頭



四月より片瀬小学校教頭として着任しました。

学校の子どもたちは、素直で元気な印象を受けています。

「あ！教頭先生だ！」「桜の花がきれいだよ！」など、笑顔で話しかけてくれるととてもうれしい気持ちになっています。子どもたちが子どもらしく、笑顔で過ごせるのは、保護者の皆様、地域の皆様の支えがあつてのことと思います。教頭としても、子どもたちの成長に全力で取り組んでいきます。

## 玉屋本店の最近の試みについて

寄稿 弘光奈奈

玉屋本店は明治四十五年創業、今年で百十三年間営業しております。江ノ電開通での人出を見越しての開業で、洋菓子が生世の中にまだ出回らないなか、土産物の種類も少なく、羊羹がよく売れたそうです。



それから約一世紀が経ち、外国からの旅行者も増え、羊羹を食べたことのない世代も現れ始め、かつてのように、出かければお土産を大量に買い、隣近所に配るといふこともなくなりました。

そのため、より多くの方々に羊羹の美味しさに気付いて頂ければと思い、お店に喫茶スペースを併設いたしました。羊羹やお抹茶などの日本独特の食文化が、日本の若い方々や海外の方々に伝わることを願っております。ちなみに夏の暑い時期以外は着物

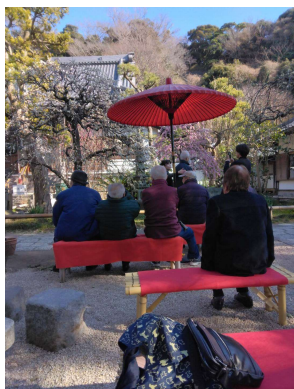


を着て接客し、着物文化もまた知られれば良いな、と思っております。四年前より、喫茶併設の他にも、商品パッケージを現代に合わせてリニューアルしました。また江ノ電マニアや、お子様のお土産として喜ばれる、江ノ電の車両のデザ

インが可愛い江ノ電羊羹と、濃厚な生チョコのようなチョコ羊羹を新たに作りしました。特にチョコ羊羹は海外の方にも羊羹が食べやすいようにと販売しましたが、思いの外、日本の方々に人気があります。今後も皆様に喜んでいただけるお店でありたいと心掛けております。

## 私の散歩道くやすらぐ居場所

私は、週に2〜3度のペースで自宅近辺を歩きます。気分が良ければ江の島を前に望む片瀬東浜まで足を伸ばし、一時間程歩きます。好天に恵まれ爽やかな風の浜辺に佇むと、潮騒、潮の香りが心地よく心に沁みまします。帰りぎわに洲鼻通りを抜け、「常立寺」を度々訪ねます。本堂と六地藏にお参りした後、梅の木の横のテーブルに腰を掛けて一息付きまします。見上げると流れる雲やアオサギの飛翔があり、耳を澄ますとメジロなど小鳥の囀りがあり、安らぎを覚えます。静かに身を置かせて頂く場所があることに感謝しつつ十数年目となる日々の散歩をこれからも楽しみたいと思っております。（一）



## 《訂正》

令和7年3月25日号「片瀬だより」2ページ「私の散歩道」掲載写真のキャプションに、次のとおり誤りがありましたので訂正します。

誤…「元始塚」 正…「元使塚」

## 江の島の貝細工

言い伝えによれば、江の島を訪れた頼朝に島民が妻北条政子に島で採れた「桜貝」を差し上げ、それが大変に喜ばれ、貝殻が土産物になることを知った島民がこれを土産物としたのが始まりとされています。江戸時代の文献(江の島まうで浜のさざ波)には鮑の粕漬、ひじきの袋入りなどと共に貝細工、箱入りの貝、貝細工の屏風などが記されています。北斎や歌麿の浮世絵にも貝や珊瑚の形を活かして鶴や松などを散らした「貝屏風」などが描かれ、その人気がうかがわれます。明治になり、外国人観光客に日本土産として人気を集めたことが知られています。ラフカディオ・ハーン(小泉八雲)や東洋で初の臨海実験所を作ったエドワード・モースらが著書の中で、貝細工の精工さや愛らしさを称えています。

1895年(明治28年)前後、東町の桶職人だった渡辺伝七が、江の島の貝細工生産に貝ボタン工業の技術を導入したことが、貝細工の発展に繋がりました。

明治31年に発行された名所図會には次のような記事が掲載されています。

「江の島土産には貝細工こそよけれ。この貝細工は多年名産として世に知られたるを以て夙に島民その製作に従事し、したがつてその技も進歩し、なかななく美術品として称すべきものもあり、彼の第一回内国博覧会に出品し、技術優等意匠高尚の褒状を得たるものさへあり・・・」

大正の末頃には彫刻の技術を学ぶ講習

所が開かれ島内や片瀬の土産物屋の店主などが講習を受けました。以降、さまざまな技法でアクセサリーや置物などを作る店が増えたということです。

第二次大戦後も材

料の貝を全国から取り寄せ、貝細工を全国各地の海辺の観光地に出荷していました。海外への輸出も多くなり、ハワイで買った土産が実は江の島で作られたものだつたという逸話も残されています。

ところが、1971年(昭和46年)円相場が変動相場制となり、輸出が激減しました。また、江の島周辺で採れる貝の減少、貝殻を加工する時の薬品などによる川の水質汚染の問題などの理由が重なり、いっしか素材となる貝は姿を消し、土産物の貝細工も店頭で見かけることがなくなりました。

しかし、江の島と貝の繋がりは今も続き、3月25日号で紹介した「渡辺本店」では海外から貝を輸入し、珍しい貝を販売したり、オリジナルの貝製品を海外で制作・販売しています。

今でも江の島で古くから商いをしている土産物店にはかつて作られた見事な貝細工の品が飾られています。島民のみなさんの知恵と工夫で作られてきた貝細工の品々をじっくりとご覧ください。



参考資料

藤沢市教育委員会発行「江の島の民俗」1995年  
藤沢市教育文化センター「藤沢の自然5みどりの江の島」2004年

高橋俊人「渡辺伝七翁小伝」私家版1963年

(株)交通新聞社「散歩の達人」2

東陽堂「風俗画報・江島・逗子・金沢名所図会」明治三十一年発行・昭和五十一年復刻版

### 子どもの居場所「いちこころ」紹介

今春から常立寺の客殿で、毎月曜日午前8時半～午後1時まで、学校に通いづらさを感じている子ども達が、誰でも、一人でも立ち寄れる子どもの居場所として「いちこころ」が開かれています。

ここでは、地域の大人が課題や気持ちに寄り添って対応し、

一人で悩まずに自分のペースで自立と社会との繋がりを築けるように支援しています。

参加している子ども達は、家庭や学校とは違う環境の中で、自分の課題克服に向けた気持ちの整理や日々の生活を省みる時間となっています。



活動の代表者から、子どもの居場所づくりは、地域の人みんなで育て合い支え合いをすることで、地域の人が

繋がるのが目標と語られました。また、皆さんに気軽に活動を見学して頂き、居場所づくりの活動にも参加を期待していますと語られました。

ふるさと片瀬く今昔あれこれ④

中村 喬

## 「七月お祭り・八月花火」

明治生まれの父、大正生まれの母親に育てられた私である。二月十一日は紀元節、十一月二十三日は新嘗祭と聞かされたものだ。

今年は昭和百年。人生の五十年を昭和時代に生きてきた私には、四月二十九日は天皇誕生日だ。「昭和の日」という言い方にはまだなじみずにいる。時代の流れの中で祝祭日も動いていくが、私の中に刻まれている成人の日は一月十五日であり、敬老の日は九月十五日だ。

地域の行事についても同じだ。

私の記憶の中では今でも片瀬諏訪神社のお祭りは七月二十一日の幟立てに始まり七月二十七日のお神輿や山車の行列で終わる。

子どもの頃の日記が残っている。昭和二十七年のことである。

七月二十七日(日) 晴れ

今日は片瀬の夏祭りだ。朝三時頃起こしてもらい、各町内の屋台と一緒に「浜降り」に行った。海水で顔を洗い身を清めた。五時過ぎには家にもどりひと眠りして、六時半からのラジオ体操をしにまた浜に向かった。

余談になるが、この頃夏休みのラジオ体操は二十日間行われた。前半は海岸で、

後半は各地区に分かれて続けられた。

お祭りと並んで私の記憶に残るのは八月十五日だ。花火大会の日だ。昼間から空砲の花火が何度も打ち上げられ開催を告げた。子どもの心のワクワク感はいやがうえにも高まった。早めに夕食を済ませ、場所取りのために浜に向かったものだった。

旧盆にあたるこの時期には燈籠流しも行われた。片瀬川の両岸は芦原だった。山本橋の近く、生い茂る芦を分けて放たれる一つ一つの燈籠の灯が川面に映って美しかった。

私にとって片瀬のお祭りは七月であり、花火大会は八月なのである。そして変わることなく催される九月の龍口寺の法難会と続いて、夢の広がる夏から秋の暮らしがあった。

## 【振り向けば月も見ている大花火】



## 片瀬市民図書館からのご案内

電話28-6935

市内に在住、在勤、在学の方ならどなたでも、一人10冊まで2週間借りられます。

### 【開室時間】

火・日曜日  
午前10時～午後5時



### 《新刊案内》

「月とアマリス」

町田 その子

「逃亡者は北へ向かう」

柚月 裕子

「磯野家の家じまい」

長谷川 裕雄

「月収」

原田 ひ香

「猫の刻参り」

三島屋変調 拾之続

宮部 みゆき

「御朱印でめぐる関東の神社」

〜集めるごとに運氣アップ!〜

地球の歩き方

「今夜はジビエ」

小川 糸

「C線上のアリア」

湊 かなえ

「雫峠」

砂原 浩太朗

「へこたれてなんかいられない」

ジェーン・スー

## 市民センターからのお知らせ

本年4月予約分より藤沢市公共施設予約システムがリニューアルされ、藤沢市の公共施設がより使い易くなりました。

### 【主なりニユールポイント】

○ユーザー登録から使用申請までを、オンラインで手続きすることが出来ます。

○使用申請できる施設に、スポーツ施設や図書館会議室、本庁舎5階市民利用会議室、地域市民の家、藤沢労働会館、湘南台文化センターが新たに加わりました。

○使用料を、クレジットカードやバーコード決済などの、オンラインキャッシュレス決済で支払うことが出来ます。

また、市民センターでは、サークル等の貸室の予約がない部屋を、個人や企業などが利用できるようになりましたので、ご利用ください。

### 編集後記

陽射しは強いが、さわやかな風が、静かに吹き抜けて行く！  
よい時間、よい場所、最高だよ！  
ちようが気持ち良く、飛んでいる。(I)